

IBC充填装置 CTU

マトコンのCTUは、フランジ概念のIBCへの粉粒体封じ込め移送装置で、IBCの蓋を自動的に脱着し、低OELで粉粒体を移送する装置です。(CTU = Containment Transfer Unit, OEL = Operator Exposure Level = 作業員被曝レベル)

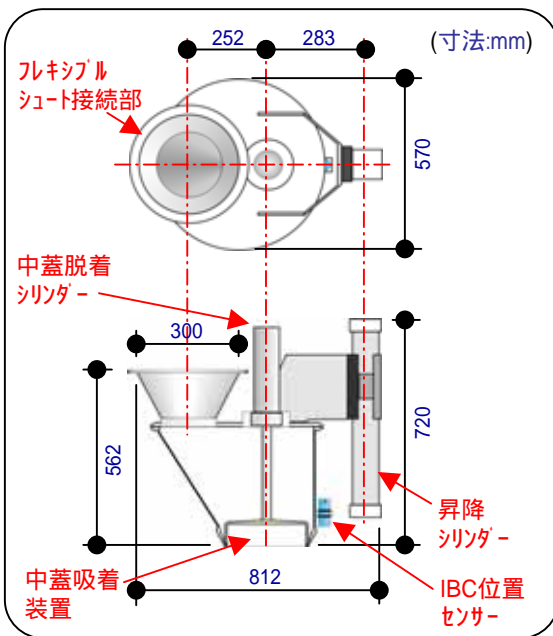
充填

プロセス装置排出口下部にCTUを設備し、その下にIBCをセットします。

CTUが下降すると、CTUの排出口()がIBCの投入口()と結合し、下図のような操作を自動的に行います。

粉粒体をIBCに移送した後にホッパー内をエアブローしてダストをベントから排出したり、CIP操作を行うこともできます。

CTUを昇降させずに、IBCを昇降させて封じ込め移送を行うこともできます。(CIP = Clean In Place = 定置洗浄)



秤量

秤量枠をロードセル上に設備し、秤量枠にCTU、IBC位置決め装置及びIBCをセットし、秤量します。

CTU上流の荷重が秤量装置に掛からないように、CTUの投入部とプロセス装置排出口間にフレキシブルシュートを挿入します。

仕様

標準のCTUは、金属部分がSUS316Lステンスチール製で、シュートやシール材にはFDA認証品を適用します。主なオプションは次の通りです。

- ・ 洗浄ノズル(エアブロー用/CIP用)
- ・ プロセスとの取り合い(50~300mm)
- ・ 秤量枠(各種IBCに対応)
- ・ シガーリフト/ヒラリフト対応

構造

- 1) 封じ込め移送装置: ホッパーやプロセス装置とマトコンIBCを繋ぐ
- 2) 昇降機構: CTU下方に配置してIBCを昇降させる装置又はCTU自身を昇降させるシリンダーを装備した枠構造の装置
- 3) 制御盤: 電気・圧空制御用

世界のマトコン

UK, USA, Scandinavia, Germany,
France, Benelux, Australia

マトコン・ジャパン株式会社

〒244-0003 横浜市戸塚区戸塚町3973-1
Tel: 045 861 1627 Fax: 045 861 1628
japan@matcon.co.jp www.matconibc.com